

大野浩

つゆ

秋草におかれた朝露よ  
世界と均衡しながらふるえ  
消えいくそのまどかのなかに  
ぼくをそつといれてくれ  
転生のおとを聴かせてくれ

なみだ

涙という字をみつめていると  
水に流したあの日が戻る  
だけどほんものなみだは  
枯れるところの片すみの  
もうひとりの私